

地域交流物産館

■所在地	北海道足寄郡足寄町北1条1丁目1・2・3-1の内	■木材使用量	26m ³
■設置者	足寄町	うち地域材	26m ³
■構造	木造平屋建	■使用樹種	構造 カラマツ
■延床面積	99m ²	内外装	カラマツ



◆施設の概要

本施設は、地域材のPRを目的とし町中心部のランドマークである道の駅に併設し、地域交流の場を目的とし、地域物産品の販売を行っています。

道の駅に併設することにより町内在住者を含め町外来客者が立ち寄ることで、木造の良さを多くの来客者にPRしています。

◆工法等の特徴

木構造は木質二方向ラーメン構造「サミット HR 工法」を採用しております。サミット HR 工法は柱や梁の接合部に異形鉄筋を貫通させエポキシ樹脂で充填・硬化させる事で剛接合に近い強固な接合部となり、木質二方向ラーメン構造を実現。RC造やS造と同等の柱割や耐震性を併せ持ち、木造でありながら筋交いや耐力壁が不要になり大空間、大開口を可能としています。

◆整備に当たり苦慮したこと

道の駅施設へのアプローチに設置していることで、通路との取り合いや配置が困難で、結果は通路部分を施設より大きく庇を出し、ピロティー（歩廊）を兼ね備え整備しました。

